

科目名		聴覚障害学Ⅰ			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科1年	後期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
聴覚系、聴覚障害者等の基本的な知識、聴力検査の理論と種類、検査方法や技術、臨床的意義などを理解し、聴覚障害者に対するリハビリテーションについての理解を深める。									
〔授業全体の内容の概要〕									
聴覚系、聴覚障害者等の基本的な知識、聴力検査の理論と種類、検査方法や技術、臨床的意義を学ぶ。									
〔講師の実務経験〕									
明石仁十病院、姫路聖マリア病院、入江病院にて言語聴覚士として18年間勤務									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
聴覚障害の特徴を理解し、典型的な症例について、リハビリテーションに必要な評価法、指導法を選択し、実施し、結果を評価できるようになる。									
回数	講義内容								
1	聴覚障害とは								
2	聴覚器官の構造								
3	聴覚器官の構造								
4	聴覚器官の構造								
5	聞こえのメカニズム								
6	聞こえのメカニズム								
7	聴覚障害の分類、難聴の分類								
8	成人聴覚障害臨床における言語聴覚士の役割								

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準言語聴覚障害学 聴覚障害学		医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験にて評価する。
